

(2020年度)

4 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は17ページ, 4問である。)

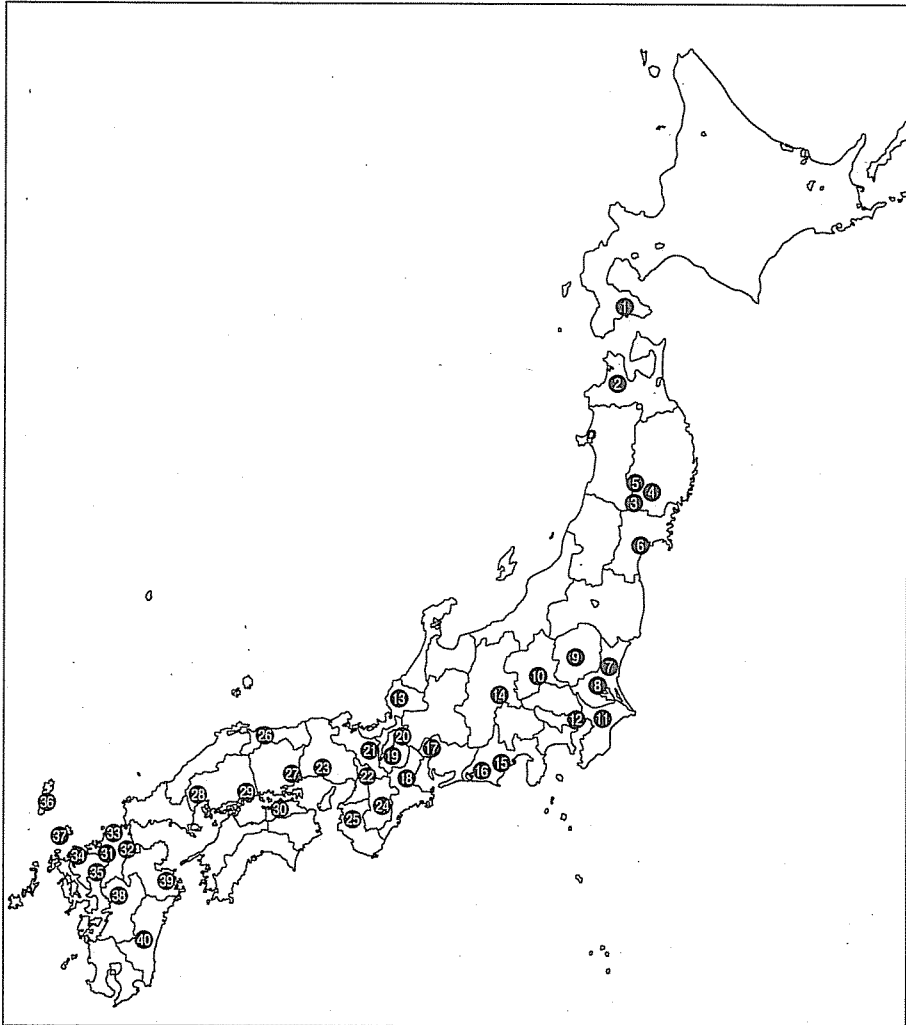
受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能を使用してはならない。また, スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきらずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 我が国においては、古文書や仏像、建造物などの有形文化財が「重要文化財」や「国宝」として指定されている。また土地に密着した歴史的な遺跡は「史跡」として指定され、その中で特に価値の高いものを「特別史跡」としている。平成29年末現在、史跡は全国で合計1,795件指定されているが、このうち特別史跡とされるものは62件に過ぎず、特別史跡に指定されている遺跡がきわめて貴重な文化財であることが分かる。

そこで、特別史跡の分布図を参照しながら、各遺跡についての説明を完成させなさい。各項目最初の〔 〕内には地図上の番号を選び、文章中の空欄（ ）に当てはまるもっとも適切な語句を、語群①～④から1つずつ選びなさい。

〔特別史跡分布図〕



(1) [1]番は(2)といい、(3)の北側背後の山上に構築された古代城郭。山腹に長大な土塁と石垣を構築した朝鮮式山城で、外国軍の侵入にそなえた要塞として構築されたものと考えられる。南方の(4)にも同様の構造をもった古代城郭があり、さらに岡山県の(5)、大阪府と奈良県の境界にある(6)がある。神籠石と呼ばれる類似した城郭遺構も九州から瀬戸内海沿岸に分布している。文献にほとんど記載されないこうした古代城郭は、白村江の戦い以後の対外的な緊張がいかに重大なものであったかを物語っている。

(2) [7]番は、(8)にある公設野球場の改築工事に際して発見された遺跡である。海を見下ろす丘陵の上に、現在確認されているだけでも40ヘクタールにおよぶ縄文時代の遺跡が広がっている。多数の竪穴住居が出土したが、長辺30メートル、幅10メートルの規模をもつ大型の掘立柱建物もあり、数百人の住民がこの遺跡に集まって共同生活を営んでいたものと推定される。中でも注目されるのは、直径1メートルもある(9)材を用いた6本柱の建物で、上部構造は復元できないものの、望楼のような役割をもっていたのではないかと考えられている。(10)の結果、(9)は長年人工的な栽培によって品種が整えられていたことが分かった。遺跡からは、5900年前から1700年間にわたってこの地域の中心地として栄えたことを示す大量の遺構と遺物が出土した。この時代の大規模な集落遺跡の発見は大きなニュースとなり、この遺跡は(11)と名付けられ、史跡公園として整備され、平成12年に特別史跡に指定された。

(3) [12]番は(13)といい、(14)で発見された2段式の円墳である。1983年に石室の内壁に玄武など四神の壁画が描かれていることが発見され、その後ファイバースコープなどによる科学的調査によって、天井には精密な天文図が描かれていることが確認された。平城京遷都以前の築造になるものと考えられ、被葬者として天武天皇周辺の皇子か朝廷の高官である可能性が考えられ、具体的な人名も複数提案されている。2000年に特別史跡に指定されたが、その直後、玄室内にカビが大発生し、天井の壁画も剥離しかけて危険な状態であることが確認されたため、2004年から6年をかけてはぎ取り作業が進められた。

(4) [15]番は(16)といい、7世紀後半、古代国家が九州の統治と外交のために置いた役所の遺跡である。博多湾から14キロメートル内陸に設けられ、中央政府の「都」に対して、「遠の朝廷」と呼ばれ、中国大陸・朝鮮半島との交渉の窓口とされた。政庁は南北215メートル、東西119メートルの規模をもち、地方の官庁としては最大規模であった。南側に客館が設けられ、博多津に着岸し

た外国の使節を収容した。894年に遣唐使の中止を建議した(17)は、901年に左大臣(18)との政争に敗れて失脚し、ここに左遷されて無念の死を遂げた。死後、その怨霊は雷神となり、京都の清涼殿に落雷して火災が発生するなどのたたりが恐れられ、墓所の上に天満宮が建立されて(19)の根源となった。(17)の詩文集(20)などには、ここで詠まれた作品が収録され、文道の元祖・学問の神として受験生の人気を集めている。

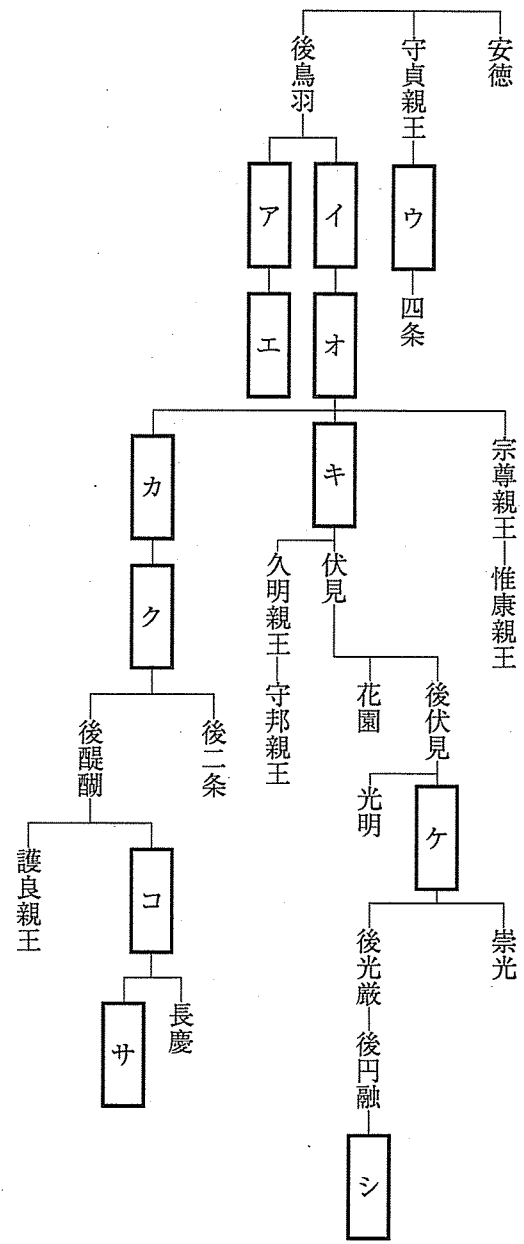
(5) [21]番は(22)といい、(23)の市街地の真ん中から発見された、今から5000~3000年前の縄文時代中・後期の遺跡である。13ヘクタール余りの遺跡から、長径130メートル以上のドーナツ形と長径170メートル以上の馬蹄形の遺構が連続して形成された、わが国有数の規模をもつ貝塚遺跡が発見された。ここから出土した土器は、編年の基準とされ、学術的にも貴重な標式遺跡とされている。戦後の開発を免れ、遺跡のほぼ全体が史跡公園として保存され、公立の博物館が設置されて研究・公開体制が整っていることから、平成29年に特別史跡に指定された。

(6) [24]番は(25)といい、日本の古代国家が唐・新羅連合軍と対戦した白村江の戦いに敗北したあと、外敵の侵入を防ぐために、664年に設けられた防備施設である。おおよそ幅80メートル、高さ10メートル、全長1.2キロメートルに及ぶ土塁は、博多湾側に60メートルの堀をそなえた堅固な構造で構築された。

【語群】

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| ① 吉野ヶ里遺跡 | ② 原の辻遺跡 | ③ 大野城跡 |
| ④ 金田城跡 | ⑤ 水城跡 | ⑥ 多賀城跡 |
| ⑦ 大宰府跡 | ⑧ 朝鮮式山城 | ⑨ 基肄城跡 |
| ⑩ 鬼ノ城 | ⑪ 高安城跡 | ⑫ クリ |
| ⑬ クスノキ | ⑭ ヒノキ | ⑮ 放射性炭素年代測定 |
| ⑯ 脂質分析 | ⑰ DNA分析 | ⑱ 年輪年代測定法 |
| ⑲ 三内丸山遺跡 | ⑳ 高松塚古墳 | ㉑ キトラ古墳 |
| ㉒ 牽牛子塚古墳 | ㉓ 菅原道真 | ㉔ 三善清行 |
| ㉕ 藤原時平 | ㉖ 八幡信仰 | ㉗ 祇園信仰 |
| ㉘ 天神信仰 | ㉙ 菅家文草 | ㉚ 本朝麗藻 |
| ㉛ 大森貝塚 | ㉜ 加曾利貝塚 | ㉝ 夏島貝塚 |
| ㉞ 千葉県千葉市 | ㉟ 大阪府堺市 | ㊱ 奈良県明日香村 |
| ㊲ 奈良県奈良市 | ㊳ 東京都品川区・大田区 | |
| ㊴ 青森県青森市 | ㊵ 神奈川県横須賀市 | |

2 次の天皇家系図をみて、あとの問いに答えなさい。なお、系図中の **ア** ~ **シ** は、皇位継承順ではないので、注意すること。



問1 後鳥羽天皇の生誕から後醍醐天皇の京都還幸までの150余年の歴史を和文で綴った歴史物語は何か。次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 『水鏡』 ② 『保曆間記』 ③ 『百練抄』 ④ 『吾妻鏡』
⑤ 『増鏡』 ⑥ 『今鏡』

問2 系図中の ～ に入る適切な諡号(おくり名)を次の中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- ① 後花園 ② 後宇多 ③ 後堀河 ④ 後亀山 ⑤ 順徳
⑥ 六条 ⑦ 高倉 ⑧ 後村上 ⑨ 後嵯峨 ⑩ 後小松
⑪ 亀山 ⑫ 二条 ⑬ 崇徳 ⑭ 土御門 ⑮ 光厳
⑯ 後深草 ⑰ 仲恭 ⑱ 近衛

問3 次の文章①～⑫は、系図中の ～ いずれかの天皇について説明したものである。それぞれの天皇について説明した文章として適切なものを1つずつ選んで記号で答えなさい。

- ① 名は茂仁(ゆたひと、「とよひと」とも)。母は藤原基家の娘北白河院陳子。入寺していたが、西園寺公経の推挙と幕府の支持により還俗させられて即位した。父はすでに出家しており、皇位についたこともなかったが、後高倉院として院政を開始した。茂仁も2歳の子に譲位すると、ただちに院政を始めたが23歳で没した。
- ② 名は幹仁(もとひと)。父の譲を受けて6歳で即位し、11歳で元服した。足利義満の提案により、別の皇統との間に和議が成立し、神器を受けた。位を皇子に譲って院政を始め、出家後も続けた。和歌・連歌をよくし、琵琶・立花なども愛好した。

- ③ 名は世仁(よひと)。在位中は父の院政であったが、退位後、第1皇子を即位させ、その後7年間院政を行なって朝政の実権を握った。第2皇子が即位するとふたたび院政を行なったが、3年後には院政が廃され、天皇親政となる。学問を好み、仏道の修行に熱心で、寵妃が没するとそれを悼んで出家し、大覚寺を住いとした。
- ④ 名は量仁(ときひと、「かずひと」とも)。祖父の意向で皇太子となり、天皇の討幕挙兵が失敗すると、幕府の要請で皇位についた。六波羅の北条氏に奉ぜられて東国に逃れる途中、敗れて帰京。廃位され、太上天皇の号を贈られたが、弟が皇位につくと院政を行ない、皇子をつぎの天皇とした。しかし、別の皇統が一時的に優勢になった際、弟や子らとともに幽閉され、大和の賀名生および河内の金剛寺で数年を過ごした。
- ⑤ 名は義良(のりよし、「のりなが」とも)。母は阿野廉子。北畠顕家に奉じられて陸奥に下向し、陸奥将軍府で東北地方を統治した。二度にわたって上洛し、激戦ののち吉野に入り、また東国に下ろうとしたが果たせず帰還。父の後をうけて吉野で即位した。その後も大和や河内を転戦したが、ついに京都に戻ることなく、摂津国住吉の行宮で没した。
- ⑥ 名は久仁(ひさひと)。母は西園寺実氏の娘。父から譲位され皇位についたが、在位中は父の院政で、やがて父の命で弟に譲位した。しかし、皇統が弟の子孫に相伝されそうになると、関東申次の西園寺実兼を通して幕府へ訴えかけ、幕府の斡旋で皇子の即位を実現し、院政を行なった。
- ⑦ 名は懐成(かねなり)。母は九条良経の娘。討幕運動に加わった父から4歳にして譲位されたが、直後に乱が起こり、即位礼も大嘗会も行わず、在位70日余りで幕府によって廃された。母方の九条邸で余生を送ったため九条廢帝などとよばれたが、1870年(明治3年)に追諡された。
- ⑧ 名は熙成(ひろなり)。兄の後をうけて皇位につき、行宮にあったが、足利義満の提案により、別の皇統との間に和議が成立して帰京し、嵯峨の大覚寺に入り、両皇統の迭立などを条件に譲位し、神器を譲った。その後、同寺に隠棲して出家したが、和議の条件が守られなかったため、出奔し、吉野で数年を過ごした。のちにまた帰洛し、晩年は大覚寺で過ごした。

- ⑨ 名は恒仁(つねひと)。父は兄よりも恒仁を愛し、兄の子を差し置いて恒仁の子を立太子させ、兄から皇位を継承した。在位15年で譲位し、院政を開始して朝政の実権を握り、幕府の改革に呼応して評定制を改革するなどしたが、幕府は恒仁の兄の子を次の天皇にし、さらにその皇子を皇太子にしたことから、失意のあまり出家した。離宮を禪寺としたが、これが南禅寺となる。
- ⑩ 名は守成(もりなり)。兄の皇太弟を経て即位したが、父とともに討幕計画を進め、乱を起こした。乱の直前、子に譲位したが、結局、幕府軍に敗れて佐渡に配流され、同所で没した。学問を好み、また優れた歌人でもあって、有職故実書『禁秘抄』、歌論書『八雲御抄』を著した。
- ⑪ 名は邦仁(くにひと)。天皇の急死後、幕府の推挙により思いがけず皇位についた。政務に励み、在位わずか4年で皇位を嫡子に譲って院政を始め、その後、次子を皇位につけてからも院政を続けた。西園寺実氏を関東申次として朝幕間の緊密化を図るとともに、院中に評定衆を置いて、伝奏に諸司・諸人の申請、訴訟を奏上させて裁断する体制を作りあげた。
- ⑫ 名は為仁(ためひと)。母は源通親の娘。父の譲位を受けて4歳で即位したが、16歳の時、父の命により弟に譲位した。父の討幕計画には関与していなかったので、幕府からの追及もなかったが、乱後に父・弟両上皇が配流されると、みずから望んで土佐に赴き、ついで阿波に移り、同所で没したため、土佐院あるいは阿波院とも称される。

3 江戸時代のある文化現象について述べた文(解説文および史料)について、各問いに答えなさい。

キリスト教に対する禁教令が出され、かつ外国との交流が幕府によって制限されていた江戸時代においては、西洋の学術・知識の研究や吸収は困難をきわめた。しかし、長崎出島のオランダ人などをつうじて次第に学ばれるようになった。その先駆けとして、長崎出身の天文・地理学者で後に江戸に招かれた(A)は『華夷通商考』を書き、(B)は、キリスト教布教のため(a)年に屋久島に潜入したイタリア人宣教師(C)を尋問し、その知識から『采覧異言』や(b)年に成立した『西洋紀聞』を著した。将軍(D)が漢訳洋書の輸入制限を緩和するとともに、甘藷栽培奨励で知られる(E)や本草学者で後に『阿蘭陀本草和解』を著した(F)らにオランダ語を学ばせたことから、蘭学が発達した。

これらの学問は実用の学問としての医学や科学技術の分野でとくに発展した。医学では、(c)年、前野良沢や杉田玄白らが西洋医学書を翻訳し出版するという画期的成果を上げた。その経緯は(d)年に刊行された『蘭学事始』にあらわされている。仙台藩の医師(G)は『蘭学階梯』を著した。美作津山藩医(H)は西洋の内科書を訳して『西説内科撰要』を著し、(I)は『ハルマ和解』をつくった。讃岐高松出身の(J)は、摩擦発電器など数々の新奇な発明物で人々を驚かせた。

問1 文中、空欄(A)～(J)に当てはまる人名を、次の語群の①～⑳の中から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------------|---------------|--------|
| ① 徳川吉宗 | ② 荻原重秀 | ③ 徳川綱吉 | ④ 稲村三伯 |
| ⑤ 吉田光由 | ⑥ ウィリアム・アダムズ | ⑦ 関孝和 | |
| ⑧ 伊能忠敬 | ⑨ ヤン・ヨーステン | ⑩ 宇田川玄隨 | |
| ⑪ 徳川家斉 | ⑫ 大槻玄沢 | ⑬ 渋川春海 | ⑭ 貝原益軒 |
| ⑮ 西川如見 | ⑯ 平田篤胤 | ⑰ 平賀源内 | ⑱ 志筑忠雄 |
| ⑲ 戸田茂睡 | ⑳ 佐久間象山 | ㉑ 高橋至時 | ㉒ 青木昆陽 |
| ㉓ 海保青陵 | ㉔ 新井白石 | ㉕ ジョヴァンニ・シドッチ | |
| ㉖ 本多利明 | ㉗ 佐藤信淵 | ㉘ 間部詮房 | ㉙ 藤田東湖 |
| ㉚ 野呂元文 | | | |

問2 文中、空欄(a)～(d)に当てはまる年を、①～⑳の中から1つずつ選びなさい。

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 1701 | ② 1704 | ③ 1708 | ④ 1710 | ⑤ 1715 | ⑥ 1720 |
| ⑦ 1725 | ⑧ 1750 | ⑨ 1760 | ⑩ 1763 | ⑪ 1765 | ⑫ 1774 |
| ⑬ 1775 | ⑭ 1776 | ⑮ 1785 | ⑯ 1790 | ⑰ 1800 | ⑱ 1815 |
| ⑲ 1818 | ⑳ 1820 | | | | |

問3 文中の下線部(あ)~(か)の書物についての解説である。それぞれどの書物についてのものか。次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 最初の蘭日対訳書で、作者は後に長崎に遊学し、京都で蘭学を教えた。
- ② 2巻本の入門書で、上巻には西洋国との通商やその学問の歴史を述べ、下巻にその国語の文法の初歩を示した。
- ③ 世界地理書として5巻にまとめられたもの。世界の地理や風俗を記したもので、将軍に献上された。
- ④ 2巻本で、日本最初の翻訳医学書を作成するときの苦心談である。
- ⑤ 2巻本で作者が長崎で見聞した外国事情、商売関係を記述したもので東アジアのみならずインドや西洋も含む内容。
- ⑥ 3巻からなる幕閣の西洋研究書であるが、キリシタン事情があるため世間一般には秘匿され長く秘本とされた。

問4 次に掲げる史料1・2について、各問いに答えなさい。

(史料1)

凡そ、其人博聞強記にして、彼方多学の人と聞えて、天文、地理の事に至ては、企及ぶべしとも覚えず。(中略)其教法を説くに至ては、一言の道に近き所もあらず。智愚たちまちに地を易へて、二人の言を聞くに似たり。こゝに知りぬ。彼方の学のごときは、たゞ其形と器とに精しき事を。所謂形而下なるもののみを知りて、形而上なるものはいまだあづかり聞かず。

(史料2)

一、其翌日、(ア)が宅に集り、前日の事を語合ひ、先ツ、彼(イ)の書に打向ヒしに、誠に艣・舵なき船の大海に乗出せしが如く、茫洋として寄べきかたなく、ただあきれにあきれて居たるまでなり。(中略)その頃は(ウ)といふものなし。よふやく長崎より(ア)求め帰りし簡略なる一小冊ありしを見合たるに、フルツヘンドの釈註に、「木の枝を断チ去れば、其迹フルヘツヘンドを為し、又、庭を掃除すれば、其塵土聚り、フルーヘンド」すといふ様に読

み出せり。

(1) 史料1は、ある著作からの引用である。その作者の職種は何か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 政治家 ② 医師 ③ 職人 ④ 商人

(2) 史料1の文中、下線部(1)の意味は何か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 西洋の学問は精神および物質と技術ともに軽んじる。
② 西洋の学問は精神とともに物質と技術を重視する。
③ 西洋の学問は精神を詳しく論じる。
④ 西洋の学問は物質と技術のみが詳しく、精神面は不十分である。

(3) 史料2の文中(ア)に当てはまる人名を次の中から1つ選びなさい。

- ① 杉田玄白 ② 伊藤仁齋 ③ 前野良沢 ④ 山脇東洋

(4) 史料2の文中(イ)に当てはまる書は何について論じたものか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 解剖学 ② 病理学 ③ 法医学 ④ 薬学

(5) 史料2の文中(ウ)には、ある書物の西欧語訳が書かれている。その書物の種類は何か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 文法書 ② 辞書 ③ 註解書 ④ 医学書

4

次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

問1 次の文章の空欄(あ)～(そ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

18世紀末ごろから、貿易関係を望む外国船は日本にしばしば接近するようになった。ロシアとイギリスはとりわけ日本との貿易再開に熱心だったが、幕府は彼らを追い返した。だが1840～42年の(あ)のニュースは幕府に大きなショックを与えた。この戦争は、イギリスが清を屈服させ(い)を締結し、香港を割譲させるとともに開国を強制したものであった。

(う)年には、ついにペリー司令官率いる4隻のアメリカの軍艦が江戸湾に侵入し、友好条約の締結を迫った。翌年ペリーが再来すると、アメリカの強硬な姿勢に押された幕府はついに(え)の調印を決断し、アメリカ船に対する燃料、食料の供給、難破船や乗組員の救助、(お)と(か)の開港、アメリカに一方的な(き)を与えることなどを約したのである。

(お)駐在の初代アメリカ総領事として来日した(く)は、通商条約の締結を求めた。(く)との交渉に当たった老中(け)は、条約調印の勅許を求めたが、朝廷では(こ)の空気が強く、(さ)の勅許は得られなかった。

開国により貿易が急激に発展し、1865年の日本のおもな輸出品は多い順に(し)(す)、輸入品は多い順に(せ)(そ)などであった。

【語群】

- | | | |
|------------|----------|------------|
| ① 下田 | ② 1854 | ③ 和宮 |
| ④ 日米修好通商条約 | ⑤ 治外法権 | ⑥ 倒幕 |
| ⑦ アヘン戦争 | ⑧ 井伊直弼 | ⑨ 北京条約 |
| ⑩ ヒュースケン | ⑪ 浦賀 | ⑫ 海産物 |
| ⑬ 毛織物 | ⑭ 横浜 | ⑮ 堀田正睦 |
| ⑯ 生糸 | ⑰ 阿部正弘 | ⑱ 艦船 |
| ⑲ アロー戦争 | ⑳ 石油 | ㉑ 1853 |
| ㉒ 孝明天皇 | ㉓ 農産物 | ㉔ 日米通商航海条約 |
| ㉕ 蚕卵紙 | ㉖ ロッシュ | ㉗ 南京条約 |
| ㉘ 刀剣 | ㉙ 最恵国待遇 | ㉚ 仁孝天皇 |
| ㉛ 長崎 | ㉜ 攘夷 | ㉝ 綿織物 |
| ㉞ 戊辰戦争 | ㉟ 武器 | ㊱ 1899 |
| ㊲ 日米和親条約 | ㊳ 綿糸 | ㊴ ハリス |
| ㊵ 箱館 | ㊶ 尊王 | ㊷ 天津条約 |
| ㊸ 茶 | ㊹ 関税の自主権 | ㊺ 神戸 |

問2 次の文章の空欄(ア)～(コ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。また、(キ)、(ク)、(ケ)に入る語句は順番を問わない。

明治末になると、日本の台頭は欧米や東アジアにとって新たな脅威とみなされるようになった。第一次世界大戦後、日本はこれらの国々の懸念を払拭し、欧米、とりわけアメリカとの友好関係を再構築しようとしてつとめた。この時期、外相を何度かつとめたのが(ア)である。1920年代の日本の外交は軍事侵略的色彩が薄められたという意味で(イ)と言われる。

(ウ)年にアメリカは海軍軍縮のための(エ)を招集し、日本にも参加を要請した。この会議の目的は、主要国の主力艦保有に対する上限の設定であった。総トン数で具体的に提示された比率は、アメリカとイギリスが5、日

本が(オ), フランスとイタリアが1.67というものだった。

(エ)においても一つ日本にとってきわめて重要だったのは、中国に関する(カ)の調印である。この条約は中国の(キ), (ク), (ケ)を規定した。日本はこの条約に基づき, (コ)を廃棄し, 中国と山東懸案解決条約を結んで山東省の旧ドイツ権益を返還した。

【語群】

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| ① 3 | ② 陸奥宗光 | ③ 民族自決 |
| ④ ヴェルサイユ条約 | ⑤ 積極外交 | ⑥ ロンドン会議 |
| ⑦ 人権保障 | ⑧ 桂・タフト協定 | ⑨ 5 |
| ⑩ 4カ国条約 | ⑪ 1921 | ⑫ 主権尊重 |
| ⑬ 軍備縮小 | ⑭ 1929 | ⑮ 幣原喜重郎 |
| ⑯ 二十一カ条の要求 | ⑰ 1923 | ⑱ 4 |
| ⑲ 平和外交 | ⑳ 領土保全 | ㉑ 小村寿太郎 |
| ㉒ 門戸開放 | ㉓ 航行の自由 | ㉔ ワシントン会議 |
| ㉕ 機会均等 | ㉖ 9カ国条約 | ㉗ 協調外交 |
| ㉘ 石井・ランシング協定 | ㉙ パリ講和会議 | ㉚ 委任統治 |

(出典：大野健一『途上国ニッポンの歩み：江戸から平成までの経済発展』有斐閣，2005年。一部変更，加筆あり。)

